

高知県感染症発生動向調査（月報）

2014年5月

高知県感染症情報センター
 高知県衛生研究所
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
 E-mail : kansen@ken4.pref.kochi.jp

全国情報

第18週(4月28日～)から第22週(～6月1日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。

5月の上位6疾患の合計は68.93で、4月76.91(5週に補正、以下同じ)よりも減少した。感染性胃腸炎(4月1位34.00)は、過去10年間では12年と1・2位を争っている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(同3位9.39)は、20週以降は過去10年間では08年に次いで多い。水痘(同4位4.60)は4月よりも増加したが、月ごとの報告数は過去10年間で最も少ない。インフルエンザ(同2位23.74)は終息している。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)(同7位2.38)、突発性発疹(同5位2.84)は増加した。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	22週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		7.21	6.36	8.74	8.83	8.09	39.23
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.95	1.63	2.78	2.87	2.94	12.17
3	水 痘		1.04	1.23	1.26	1.15	1.35	6.03
4	イ ン フ ル エ ン ザ		2.52	1.09	0.83	0.56	0.35	5.35
5	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)		0.80	0.58	0.67	0.63	0.47	3.15
6	突 発 性 発 疹		0.54	0.48	0.64	0.65	0.69	3.00

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の5月の上位6疾患の合計は69.94で、4月90.83(5週に補正、以下同じ)よりもかなり減少し、全国とほぼ同じになった。感染性胃腸炎(4月1位48.63)は、全国とは異なり第17週11.93以降減少傾向がみられる。(第19週は5/5～5/11連休)感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)(同5位4.85)は全国4位と多く、水痘(同4位6.43)も全国よりも多い。インフルエンザ(同2位20.34)は、第22週に大きく減少し全国よりも少ない。流行性耳下腺炎(同3位7.13)は減少したが、全国(9位1.39)の3倍以上で福島県5.9に次いで2位である。マイコプラズマ肺炎(同6位3.46)は全国(10位1.30)の2.5倍と多く、全国6位である。

表2 各週定点当たり報告数(高知県)

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	22週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		10.73	7.17	8.77	7.93	6.60	41.20
2	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)		1.50	1.13	1.13	2.38	1.88	8.02
3	水 痘		1.57	1.03	2.07	1.03	2.07	7.77
4	流 行 性 耳 下 腺 炎		1.13	0.90	1.17	0.90	1.17	5.27
5	イ ン フ ル エ ン ザ		1.79	0.63	0.90	0.90	0.19	4.41
6	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎		0.88	0.38	1.13	0.50	0.38	3.27

2. 全体の傾向

麻疹、風疹の報告無し。

感染性胃腸炎の流行が続いている。全国と比較すると、ロタウイルスによる感染性胃腸炎、流行性耳下腺

炎、マイコプラズマ肺炎は非常に多く、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は最も少ない。インフルエンザは終息に向かって減少している。ヘルパンギーナの流行が始まりつつあり、注意すべきである。週報ではヒトメタニューモウイルス感染症が報告されており、ウイルスが3件検出された。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 211名 (4月781名)。過去10年間の5月の報告数をみると、2011年630名が最多、2004年2名が最少である。5月の3桁の報告数は1980年～2006年では1988年146名の1回のみであるが、2007年以降では6回あり。実際に増加しているのか、5月にも迅速検査するようになった結果なのか不明である。ウイルスはInfluenza virus B NTが3件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 40名 (4月15名)。今年の最高値である。全国では過去10年間で06年に次ぐ報告数が続いており、高知県の今後の動向に注意すべき疾患である。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 95名 (4月57名)。高知県では3桁の報告数は、12年は9か月あったが、13年1月以降17か月間で1か月のみである。定点あたり報告数3.17は全国で最も少ない。一方、全国の報告数は、第20週以降では過去10年間で08年と同程度で最も多い。

4) 感染性胃腸炎

報告数 1236名 (4月1167名)。減少傾向はみられず、流行が長引いている。5月の報告数としては過去10年間では12年1337名に次いで多い。ウイルスは、Norovirus G II NTが6件、Sapovirusが2件、Adenovirus 3とCoxsackievirus B2が各1件検出された。

5) 水痘

報告数 233名 (4月154名)。大きく増加し、昨年5月以来の200名以上の報告である。

6) 手足口病

報告数 6名 (4月0名)。5月頃から増加する疾患であるが、流行規模は毎年大きく変動する。

7) 伝染性紅斑

報告数 7名 (4月3名)。非流行期が1年半余り持続している。

8) 突発性発疹

報告数 83名 (4月48名)。50名程度の安定した報告数が続いている疾患であるが、11年6月93名以降最も多い。

9) 百日咳

報告数 0名 (4月3名)。増加傾向なし。

10) ヘルパンギーナ

報告数 19名 (4月2名)。2桁に増加したので、今後さらに増加すると推測される。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 158名 (4月171名)。僅かに減少したが、3桁の報告が10か月連続している。

12) RSウイルス感染症

報告数 7名 (4月16名)。減少が続いているが、5月の報告数としては過去10年間で最も多い。

13) 流行性角結膜炎

報告数 7名 (4月6名)。2ヶ月連続でやや多い。

14) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 26名（4月22名）。すべて高知市からの報告で、かなり多い報告数である。

基幹定点の月報疾患

15) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 33名（4月24名）。20～40名の範囲で推移している。

16) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 2名（4月2名）。12年4月以降は4名以下である。

高知県感染症発生動向調査部会

会長 吉川 清志

高知県における月別全数報告疾患（平成25年6月20日現在）

類型	病名	報告月						総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
2	結核	11	8	11	12	14	11	67
4	日本紅斑熱					1	1	2
	デング熱					1		1
	重症熱性血小板減少症候群					1	1	2
5	アメーバ赤痢			1			1	2
	ウイルス性肝炎		1					1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1			1			2
	侵襲製肺炎球菌感染症			1		1		2
	急性脳炎			1				1
	破傷風			1		2		3
	梅毒	1			1			2
総計		13	9	15	14	20	14	85

高知県感染症情報 月報(64定点医療機関)

2014年

5月

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・小児科	インフルエンザ	7	57	77	33	19	18	211	781	113
小児科	咽頭結膜熱		5	15	1	3	16	40	15	13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	16	31	19	11	17	95	57	89
	感染性胃腸炎	59	171	623	143	87	153	1,236	1,167	923
	水痘	12	20	85	38	11	67	233	154	253
	手足口病			4	1		1	6		14
	伝染性紅斑		2	4	1			7	3	1
	突発性発疹	3	7	41	11	12	9	83	48	76
	百日咳								3	2
	ヘルパンギーナ	1	12	4	1		1	19	2	8
	流行性耳下腺炎	2	29	65	25	4	33	158	171	30
	RSウイルス感染症	3		3	1			7	16	4
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			7				7	6	3
STD	性器クラミジア感染症			1			2	3	1	
	性器ヘルペスウイルス感染症									1
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎		1					1	1	
	無菌性髄膜炎			2				2		1
	マイコプラズマ肺炎			26				26	22	26
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								1	1
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			56			8	64	31	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8	2	18			5	33	24	36
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								2	4
	薬剤耐性緑膿菌感染症			2				2		1
	薬剤耐性アシネトバクター感染症									
計		96	322	1,064	274	147	330	2,233	2,505	1,599
前月		136	437	1,163	330	131	308			
前年同月		108	194	841	140	108	208			
小児科定点数		2	7	11	3	2	5			

高知県感染症情報 月報(64定点医療機関)

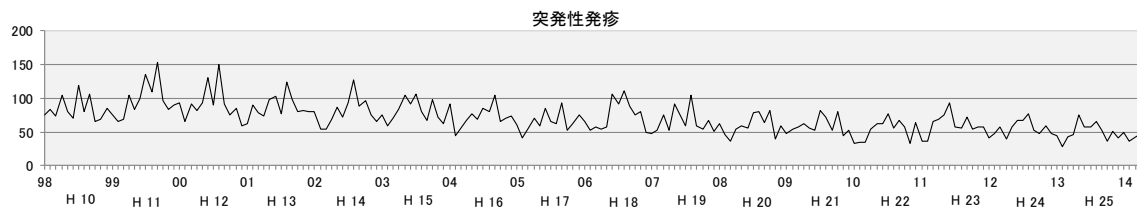
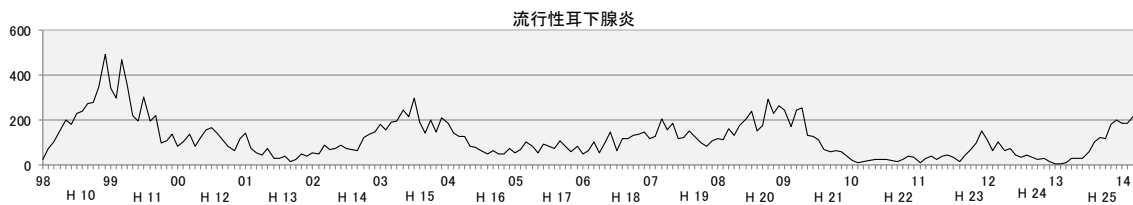
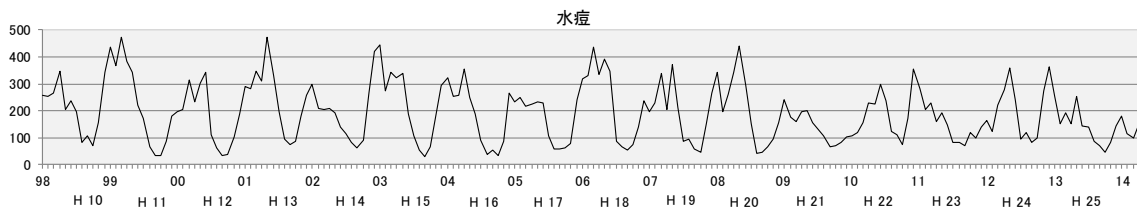
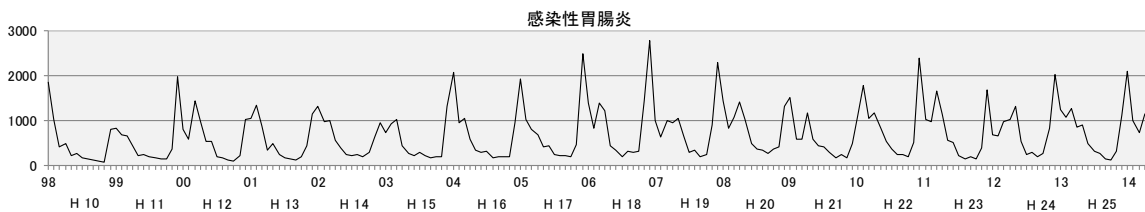
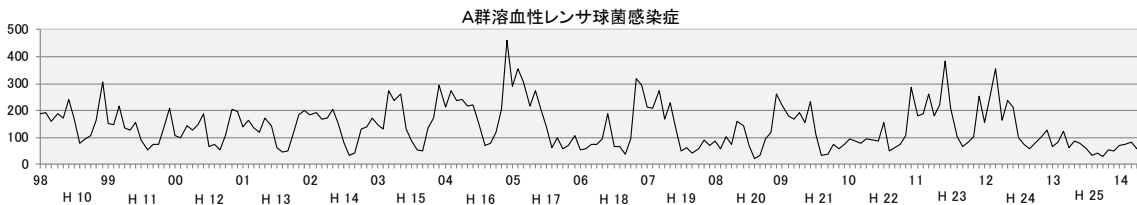
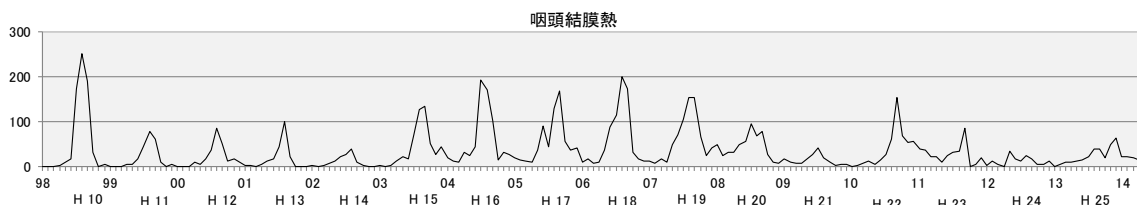
2014年

5月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	1.75	5.19	4.82	6.60	4.75	2.27	4.41	16.27	2.37
小児科	咽頭結膜熱		0.72	1.36	0.33	1.50	3.20	1.33	0.50	0.42
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	2.30	2.82	6.34	5.50	3.40	3.17	1.90	2.97
	感染性胃腸炎	29.50	24.43	56.63	47.67	43.50	30.60	41.20	38.90	30.77
	水痘	6.00	2.86	7.73	12.67	5.50	13.40	7.77	5.14	8.43
	手足口病			0.36	0.33		0.20	0.20		0.47
	伝染性紅斑		0.28	0.36	0.33			0.23	0.09	0.03
	突発性発疹	1.50	1.00	3.72	3.66	6.00	1.80	2.76	1.60	2.54
	百日咳								0.10	0.06
	ヘルパンギーナ	0.50	1.71	0.36	0.33		0.20	0.62	0.06	0.26
	流行性耳下腺炎	1.00	4.14	5.91	8.33	2.00	6.60	5.27	5.70	1.00
	RSウイルス感染症	1.50		0.27	0.33			0.24	0.53	0.13
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			7.00				2.32	1.99	1.00
STD	性器クラミジア感染症			0.50			1.00	0.50	0.17	
	性器ヘルペスウイルス感染症									0.17
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎		1.00					0.13	0.13	
	無菌性髄膜炎			0.40				0.26		0.13
	マイコプラズマ肺炎			5.20				3.27	2.77	3.26
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.13	0.13
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			11.20			8.00	8.02	3.88	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8.00	2.00	3.60			5.00	4.13	3.00	4.50
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								0.25	0.50
	薬剤耐性緑膿菌感染症			0.40				0.25		0.13
	薬剤耐性アシネトバクター感染症									
小児科定点分計		42.25	42.63	84.34	86.92	68.75	61.67	67.20	70.79	49.45
前月		49.50	51.66	90.99	99.59	55.75	51.68			
前年同月		52.25	25.83	70.25	46.11	50.50	37.19			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

平成26年5月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

5月はウイルス69件、細菌8件の搬入があり、そのうちウイルス27件の病原体を検出し、また、平成25年4月に搬入された検体でウイルス13件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adeno virus 3 2件、Adeno virus 6 1件、Coxsackie virus A5 1件、Coxsackie virus B2 2件、Coxsackie virus B3 1件、Human herpes virus 6 4件、Human herpes virus 7 4件、Human metapneumo virus 3件、Influenza virus B NT 3件、Influenza virus B/Yamagata 3件、Norovirus GII NT 7件、Parainfluenza virus 2 1件、Rhinovirus 6件、Sapovirus genogroup unknown 2件であった。

ウイルス, 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	7	女	無菌性髄膜炎、流行性耳下腺炎	39℃、腹痛、	髄液	4/10	Human herpes virus 7
2	39	男	インフルエンザ	39℃、咳漱、関節痛、	ぬぐい液	4/13	Influenza virus B/Yamagata
3	11ヶ月	女	下気道炎	38℃、下気道炎、気管支炎、	鼻咽空ぬぐい液	4/17	Adenovirus 3 Coxsackievirus B3
4	6	女	不明発疹症	発疹、筋肉痛、	ぬぐい液	4/17	Human herpes virus 7
5	9	男	インフルエンザ	39℃、咳漱、	ぬぐい液	4/17	Influenza virus B/Yamagata
6	4	女	咽頭結膜炎、咽頭結膜熱	38℃、	ぬぐい液	4/18	Rhinovirus
7	2	男	感染性胃腸炎、川崎病	下痢、嘔吐、嘔気、腹痛、発疹、	ふん便	4/22	Human herpes virus 6
8	5ヶ月	男	先天性喘鳴	37℃、咳漱、	ぬぐい液	4/23	Rhinovirus
9	11	男	インフルエンザ	38℃、咳漱、上気道炎、関節痛、	ぬぐい液	4/24	Influenza virus B/Yamagata
10	6	男	感染性胃腸炎	38℃、嘔吐、	ふん便	4/24	Norovirus GII NT
11	6	男	感染性胃腸炎	嘔吐、嘔気、	ふん便	4/25	Norovirus GII NT
12	9ヶ月	男	急性上気道炎	39℃、咳漱、上気道炎、	鼻腔ぬぐい	4/25	Rhinovirus
13	5	女	不明発疹症	発疹、	ぬぐい液	4/26	Human herpes virus 7
14	11ヶ月	男	感染性胃腸炎	嘔吐、	ふん便	4/27	Adenovirus 3 Norovirus GII NT
15	11ヶ月	男	不明発疹症	40℃、下痢、咳漱、発疹、	ぬぐい液	4/28	Human herpes virus 6
16	1	男	不明発疹症	41℃、下痢、発疹、	ぬぐい液	4/30	Human herpes virus 6
17	3	男	感染性胃腸炎	39℃、下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	4/30	Coxsackievirus B2
18	7ヶ月	男	下気道炎	39℃、咳漱、下気道炎、	ぬぐい液	5/1	Human metapneumovirus Rhinovirus
19	5	男	インフルエンザ	40℃、	ぬぐい液	5/1	Influenza virus B NT
20	5	女	急性気管支炎	39℃、咳漱、気管支炎、	ぬぐい液	5/1	Human metapneumovirus
21	1	女	感染性胃腸炎	39℃、下痢、嘔吐、嘔気、中枢神経系障害、	ふん便	5/2	Norovirus GII NT
22	1	男	急性気管支炎	40℃、咳漱、気管支炎、	ぬぐい液	5/2	Adenovirus 6
23	12	男	インフルエンザ	39℃、関節痛、	ぬぐい液	5/4	Influenza virus B NT
24	11ヶ月	女	喘息様気管支炎	38℃、咳漱、下気道炎、気管支炎、肺炎、	鼻	5/4	Human metapneumovirus
25	8	男	急性上気道	39℃、咳漱、上気道炎、	鼻腔ぬぐい	5/7	Parainfluenza virus 2
26	11ヶ月	男	急性中耳炎	37℃、咳漱、上気道炎、	ぬぐい液	5/7	Rhinovirus
27	1	女	感染性胃腸炎	嘔吐、嘔気、	ふん便	5/8	Norovirus GII NT
28	5	男	不明発疹症	39℃、発疹、	ぬぐい液	5/9	Coxsackievirus B2
29	1	女	ヘルパンギーナ	38℃、	ぬぐい液	5/9	Coxsackievirus A5
30	4	男	感染性胃腸炎	嘔吐、嘔気、腹痛、	ふん便	5/9	Sapovirus genogroup unknown Norovirus GII NT
31	1	男	感染性胃腸炎	嘔吐、嘔気、	ふん便	5/9	Norovirus GII NT
32	5	女	不明発疹症	発疹、	ぬぐい液	5/10	Human herpes virus 6 Human herpes virus 7
33	7	男	インフルエンザ	40℃、咳漱、上気道炎、	ぬぐい液	5/12	Influenza virus B NT
34	9	女	感染性胃腸炎	嘔吐、嘔気、	ふん便	5/12	Sapovirus genogroup unknown
35	1ヶ月	男	気管支炎	39℃、咳漱、気管支炎、	ぬぐい液	5/13	Rhinovirus

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2014年					2014年 総計
		1	2	3	4	5	
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes Untypable</i>				2		2
	計				2		2
インフルエンザ	Coxsackievirus B2				1		1
	Human metapneumovirus			2			2
	Influenza virus A H1pdm 09	9	24	17			50
	Influenza virus A H3 NT	12	10	2			24
	Influenza virus B NT	2		4		3	9
	Influenza virus B /Victoria	3		1			4
	Influenza virus B Yamagata	4	2	4	5		15
	Rhinovirus				1		1
計	30	36	30	7	3	106	
咽頭結膜熱	Adenovirus 1				2		2
	Adenovirus 2/6	1					1
	Adenovirus 3	4	2				6
	Adenovirus 5		1				1
	Rhinovirus				3		3
	計	5	3		5		13
感染性胃腸炎	Adenovirus 3					1	1
	Adenovirus 41		1	1			2
	Adenovirus 6		1				1
	Coxsackievirus B2					1	1
	Human herpes virus 6				1		1
	Human metapneumovirus				1		1
	Norovirus GII NT	26	9	6	8	6	55
	Rotavirus group A NT	1					1
	Rotavirus group AG3	2		2	2		6
	Sapovirus genogroup unknown	12	3	1	1	2	19
計	41	14	10	13	10	88	
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A5					1	1
	計					1	1
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus A8						
	Coxsackievirus B2			1	1		2
	Echovirus 30	2					2
	Human herpes virus 7				1		1
	Varicella-zoster virus		1				1
	計	2	1	1	2		6
	マイコプラズマ肺炎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	3		1		
計	3		1			4	
流行性角結膜炎	Adenovirus 3	1					1
	計	1					1
その他	Adenovirus 2	1		1			2
	Adenovirus 3				2		2
	Adenovirus 6			1		1	2
	Adenovirus NT			1			1
	B19virus	1					1
	Coxsackievirus B2			1	1	1	3
	Coxsackievirus B3				1		1
	Cytomegalo virus		1	1			2
	Epstein-Barr virus			1			1
	Herpes simplex virus 1			1			1
	Human herpes virus 6	1	2	1	1	2	7
	Human herpes virus 7	2	1		2	1	6
	Human metapneumovirus	3	3	6	7	3	22
	Influenza virus A H3 NT	1					1
	Influenza virus B /Yamagata	1					1
	Norovirus GII NT	1	1	1			3
	Parainfluenza virus 1		1				1
	Parainfluenza virus 2					1	1
	Respiratory syncytial virus A		1				1
	Respiratory syncytial virus B		1				1
Rhinovirus	1	7	2	6	4	20	
計	12	18	17	20	13	80	
総計		94	72	59	49	27	301